

**久慈市子ども・子育て支援事業計画策定のための  
ニーズ調査 結果報告書(概要版)**

**平成 31 年 3 月**

# 1 調査の結果概要（就学前児童）

○調査対象：市内在住の就学前児童がいる家庭の保護者 1096 世帯

○調査期間：平成 30 年 12 月 3 日～平成 30 年 12 月 12 日

○調査方法：幼稚園・保育所における配布・回収、郵送配布・回収

○配布・回収：

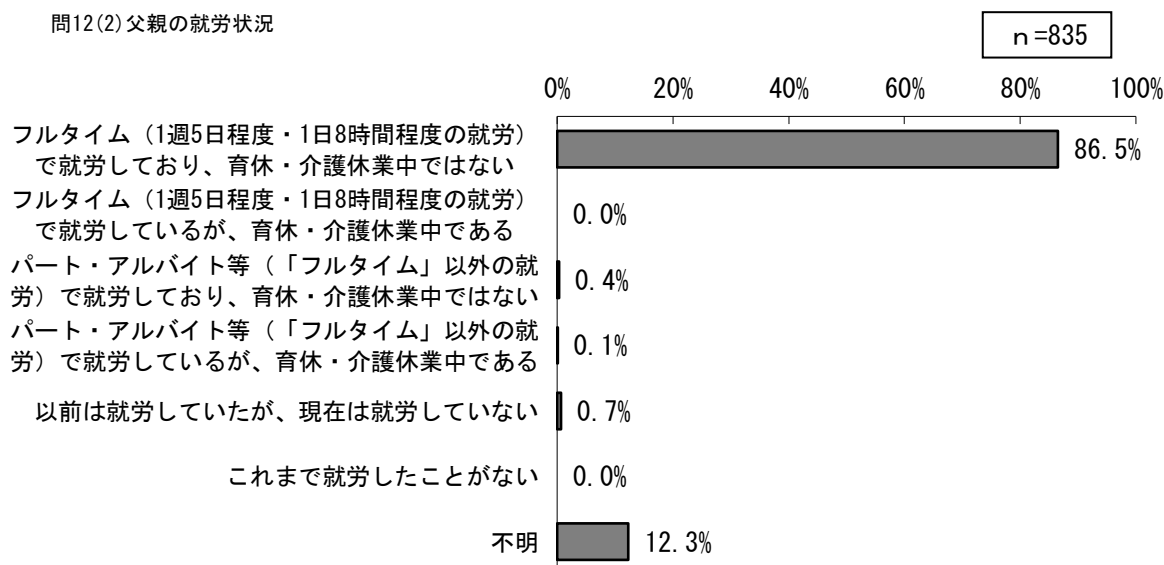
配布数	回収数	回収率
1096 票	835 票	76.2%

## （1）両親の就労状況

○父親の就労状況

父親の就労状況は、「フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 86.5%と最も高くなっています。

問12(2)父親の就労状況

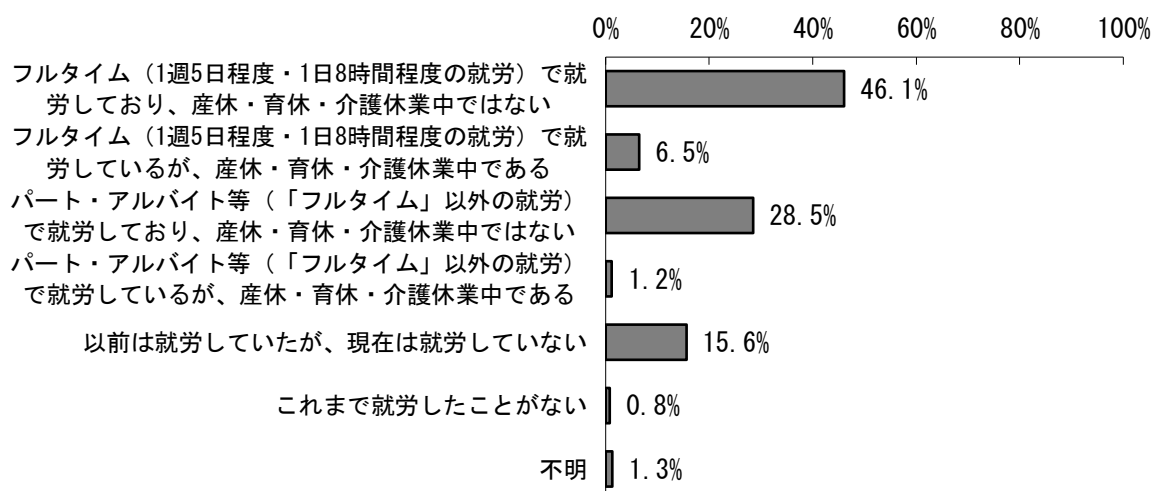


### ○母親の就労状況

母親の就労状況は、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が46.1%と最も高く、次いで「パート・アルバイト等（フルタイム以外）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が28.5%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が15.6%、「フルタイム（週5日程度・1日8時間程度）で就労していたが、産休・育休・介護休業中である」が6.5%となっています。

問12(1) 母親の就労状況

n=835

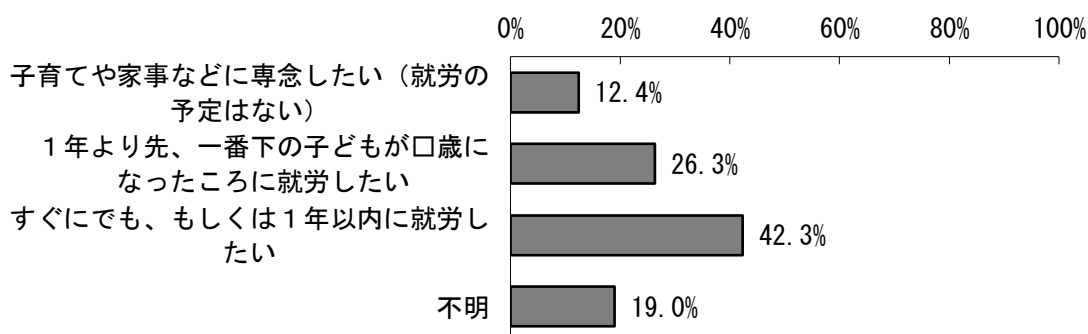


### ○現在就労していない母親の今後の就労希望

母親の就労希望は、「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が42.3%と最も高く、次いで「1年より先。一番下の子どもが〇歳になったころに就労したい」が26.3%となっています。

問14(1) 母親の就労したいという希望

n=137

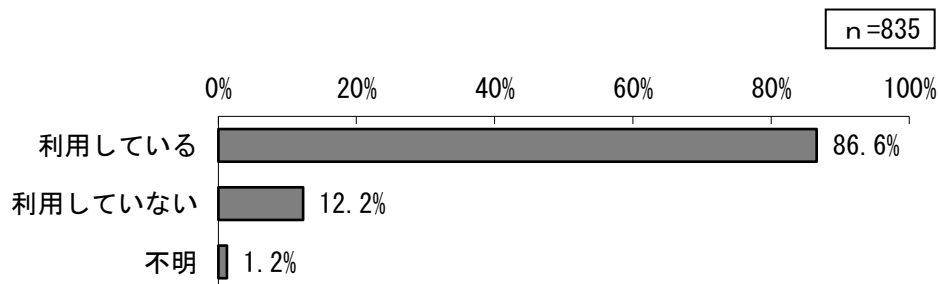


## (2) 教育・保育事業の利用について

### ○定期的な教育・保育事業の利用状況

平日の定期的な教育・保育事業の利用の有無については、「利用している」が86.6%、「利用していない」が12.2%となっています。

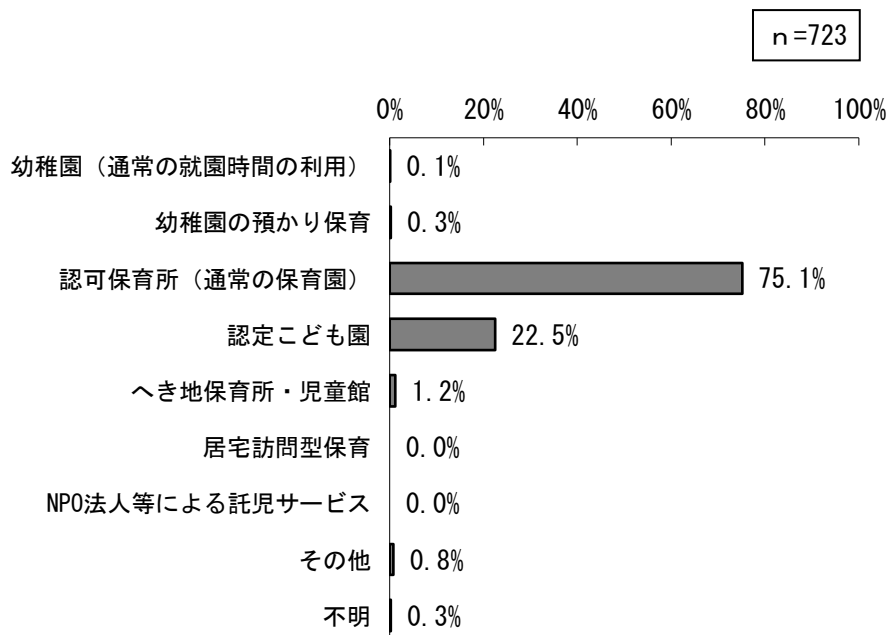
問15. 幼稚園や保育所などの「定期的な教育・保育事業」を利用していますか



### ○定期的にご利用している教育・保育事業

平日、定期的にご利用している教育・保育事業は、「認可保育所（通常の保育園）」が75.1%と最も高く、次いで「認定こども園」が22.5%、「へき地保育所・児童館」が1.2%となっています。

問15-1. 平日どのような教育・保育事業を利用していますか

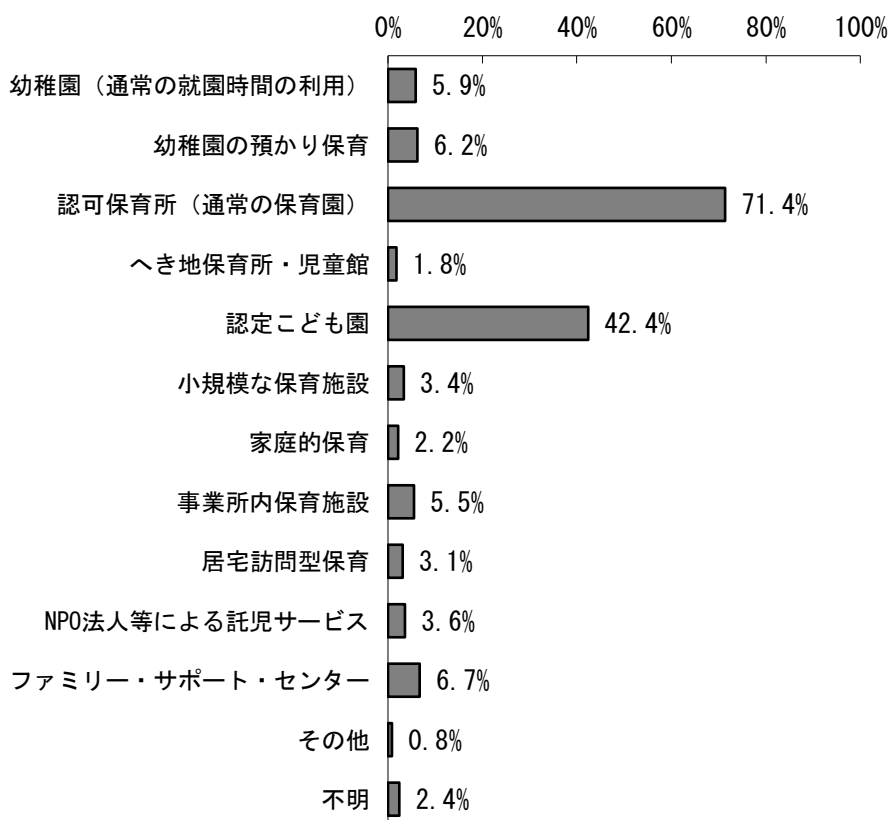


### ○今後、定期的に利用したい教育・保育事業

現在の利用有無にかかわらず、今後定期的に利用したい教育・保育事業は、「認可保育所（通常の保育園）」が71.4%と最も高く、次いで「認定こども園」が42.4%となっています。

問16. 定期的に利用したいと考える事業

n=835



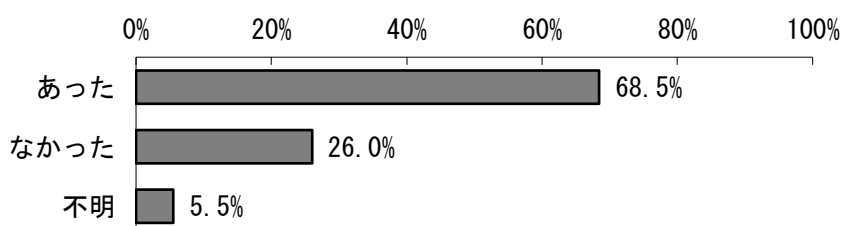
### (3) 子どもが病気やケガの際の対応について

#### ○病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったこと

この1年間に、子どもが病気やケガで平日の教育・保育事業が利用できなかったことは、「あった」が68.5%、「なかった」が26.0%となっています。

問22. お子さんが病気やケガで通常の事業を利用できなかったことはありますか

n=723

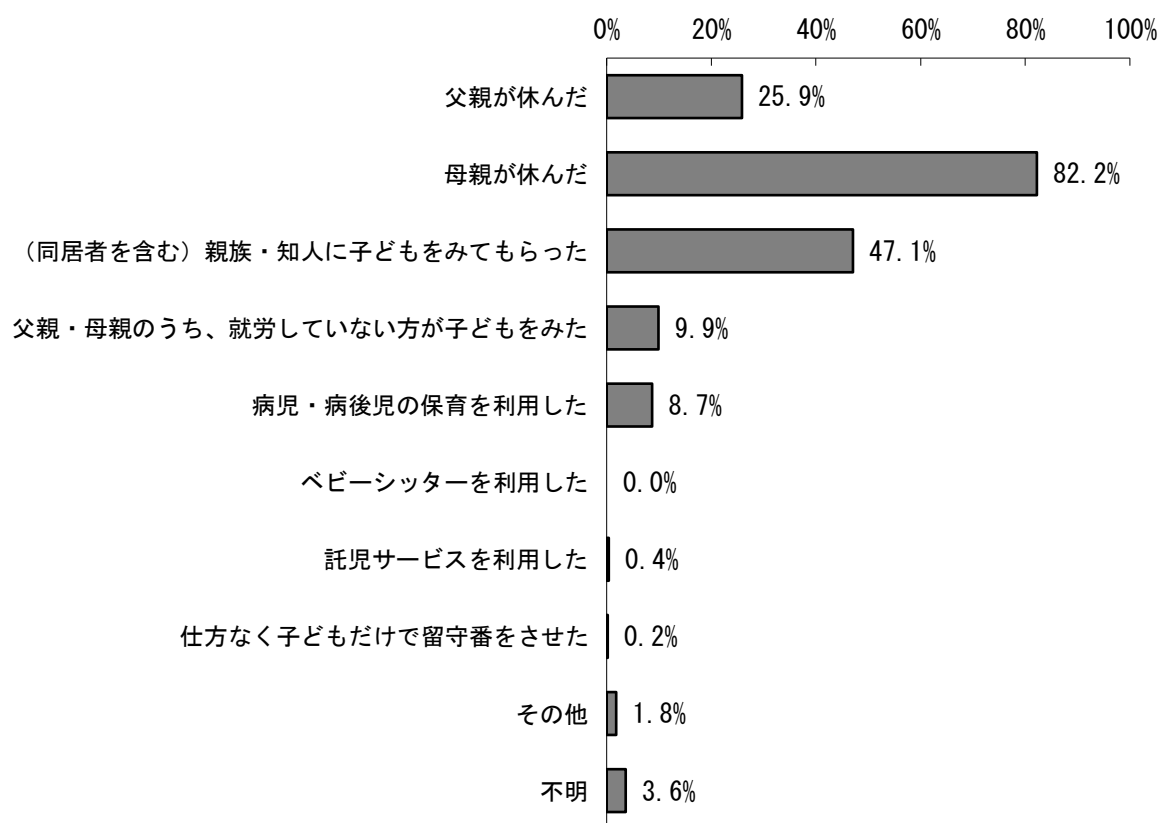


○病気やケガを理由に定期的な教育・保育事業を利用できなかったときの対処方法

ふだん利用している教育・保育事業が利用できなかったときの対処方法については、「母親が休んだ」が82.2%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に子どもをみてもらった」が47.1%、「父親が休んだ」が25.9%となっています。

問22-1. この1年間に行った対処方法

n=495

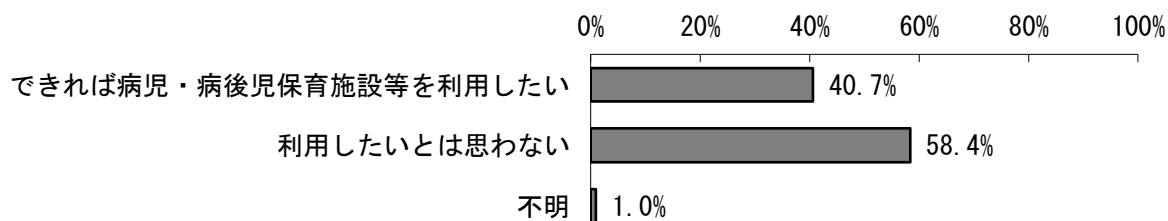


○病児・病後児保育の利用意向

病児・病後児保育施設等の利用希望について、「利用したいとは思わない」が58.4%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が40.7%となっています。

問22-2. できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが

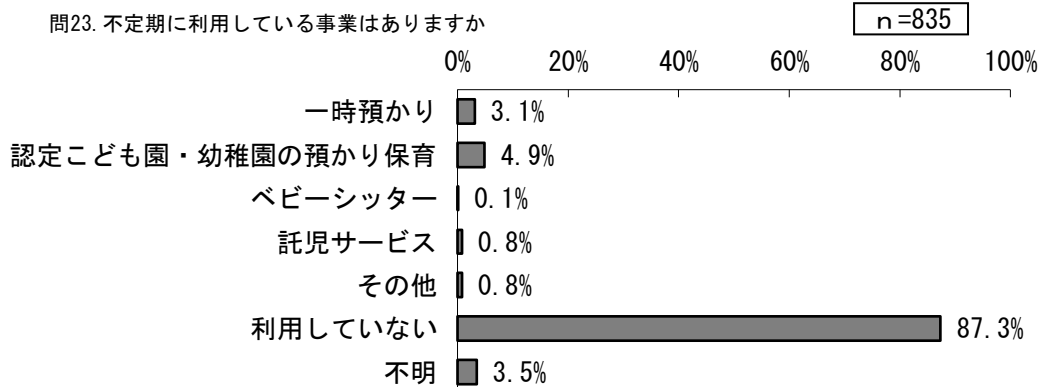
n=418



#### (4) 不定期の教育・保育事業の利用について

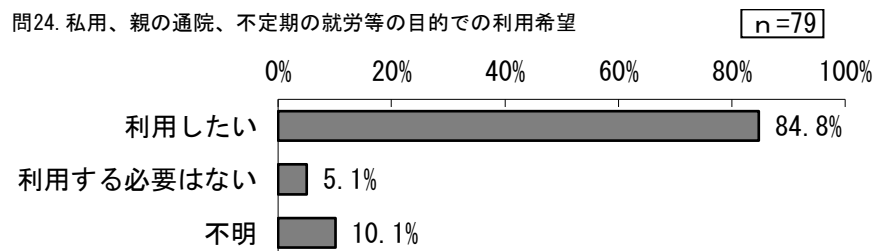
##### ○通院や不定期の就労等を目的とした不定期に利用している事業

私用、通院、不定期の就労等の目的で不定期に利用している事業については、「利用していない」が87.3%と最も高くなっています。



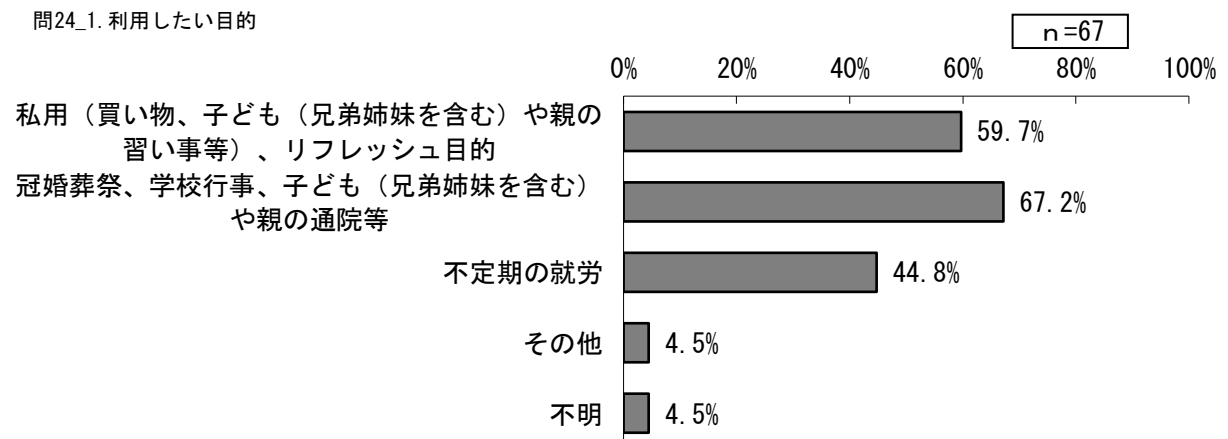
##### ○不定期的な事業の利用希望

不定期の教育・保育事業の今後の利用希望については、「利用したい」が84.8%、「利用する必要はない」が5.1%となっています。



##### ○不定期の事業の利用目的

不定期の教育・保育事業の利用したい目的については、「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が67.2%で最も高く、次いで「私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）リフレッシュ目的」が59.7%、「不定期の就労」が44.8%となっています。

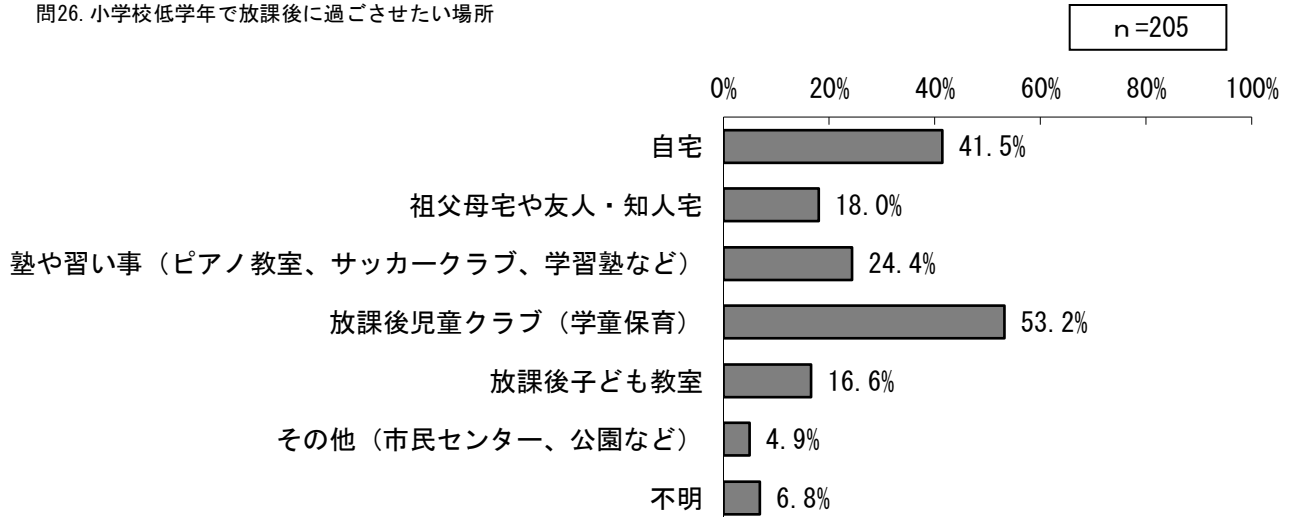


## (5) 小学校就学後の放課後の過ごし方

### ○低学年のうちに放課後を過ごさせたい場所

低学年のうちに放課後を過ごさせたい場所は、「放課後児童クラブ（学童保育）」が 53.2% と最も高く、次いで「自宅」が 41.5%、「塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」が 24.4%となっています。

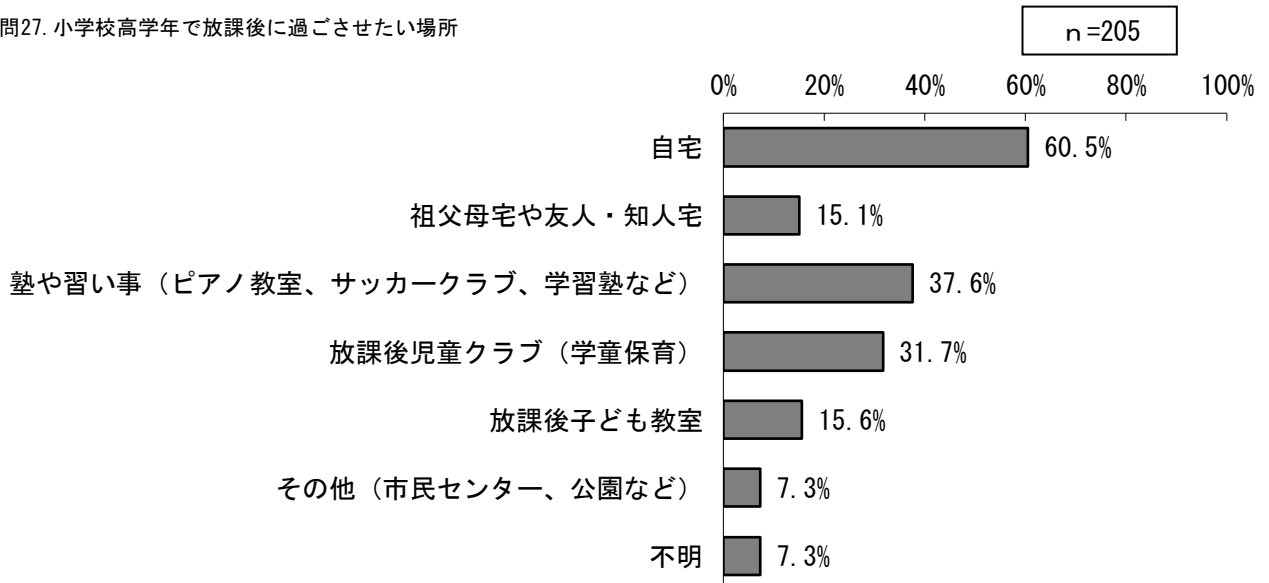
問26. 小学校低学年で放課後に過ごさせたい場所



### ○高学年のうちに放課後を過ごさせたい場所

高学年のうちに放課後を過ごさせたい場所は、「自宅」が 60.5% と最も高く、次いで「塾や習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）」37.6%、が「放課後児童クラブ（学童保育）」31.7%となっています。

問27. 小学校高学年で放課後に過ごさせたい場所





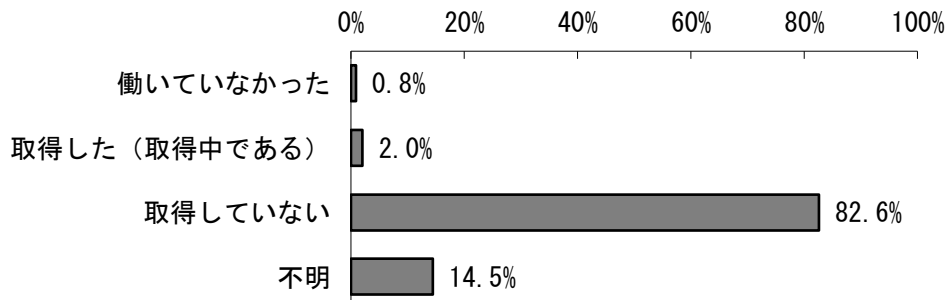
## (6) 育児休暇の取得について

### ○父親の育児休暇の取得状況

父親の育児休暇の取得について、「取得していない」が82.6%と最も高くなっています。

問30(2) 父親の育児休業の取得

n=835

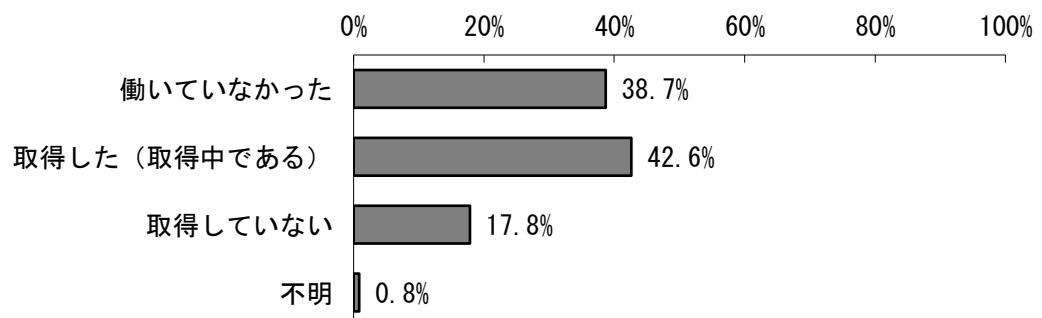


### ○母親の育児休暇の取得状況

母親の育児休暇の取得について、「取得した(取得中である)」が42.6%と最も高く、次いで「働いていなかった」が38.7%となっています。

問30(1) 母親の育児休業の取得

n=835



## 2 調査の結果概要（小学生）

○調査対象：市内在住の小学生がいる家庭の保護者 597 世帯

○調査期間：平成 30 年 12 月 3 日～平成 30 年 12 月 12 日

○調査方法：郵送配布・回収

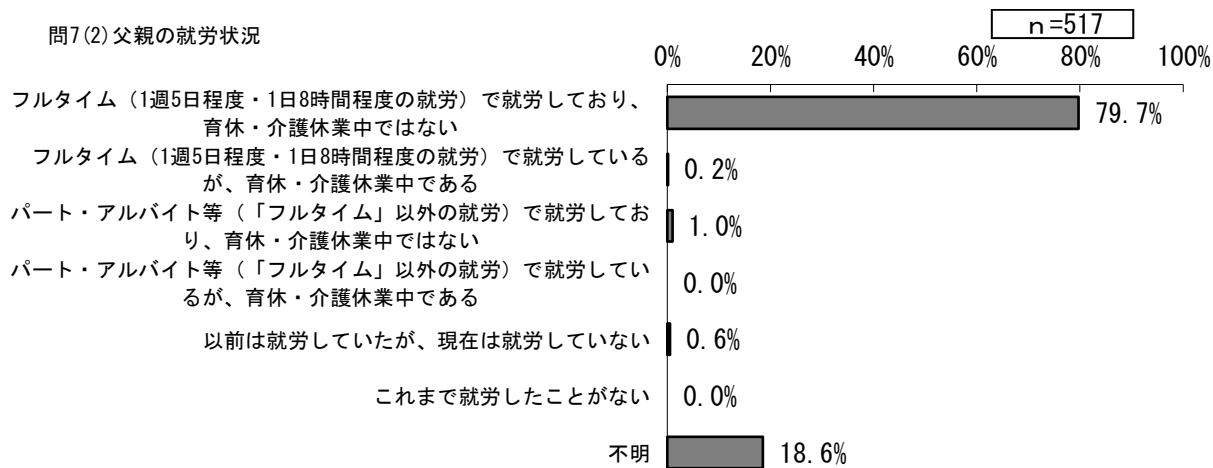
○配布・回収：

配布数	回収数	回収率
597 票	518 票	86.8%

### (1) 両親の就労状況

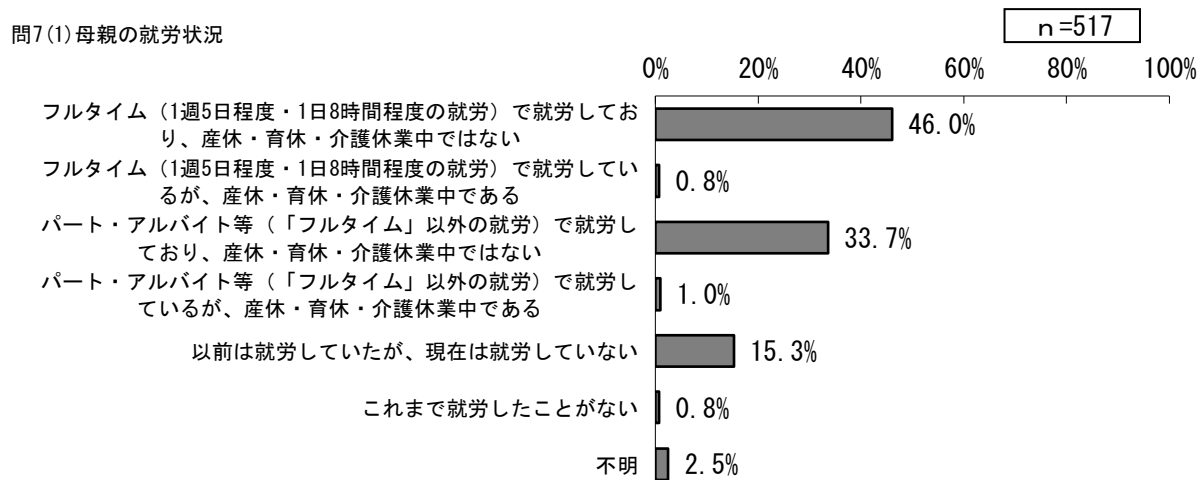
#### ○父親の就労状況

父親の就労状況は、「フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度）で就労しており、育休・介護休業中ではない」が 79.7%と最も高くなっています。



#### ○母親の就労状況

母親の就労状況は、「フルタイム（週 5 日程度・1 日 8 時間程度）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 46.0%、「パート・アルバイト等（フルタイム以外の就労）で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が 33.7%となっています。

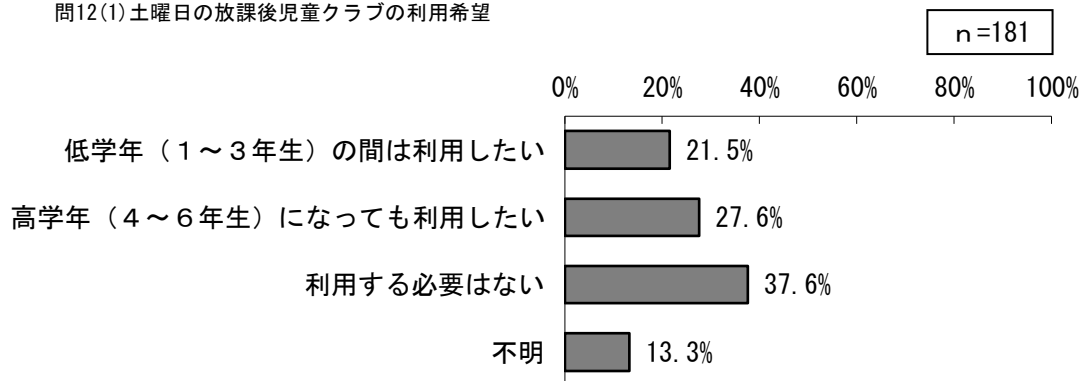


## (2) 学童保育所について

### ○土曜日と日曜日・祝日の利用希望

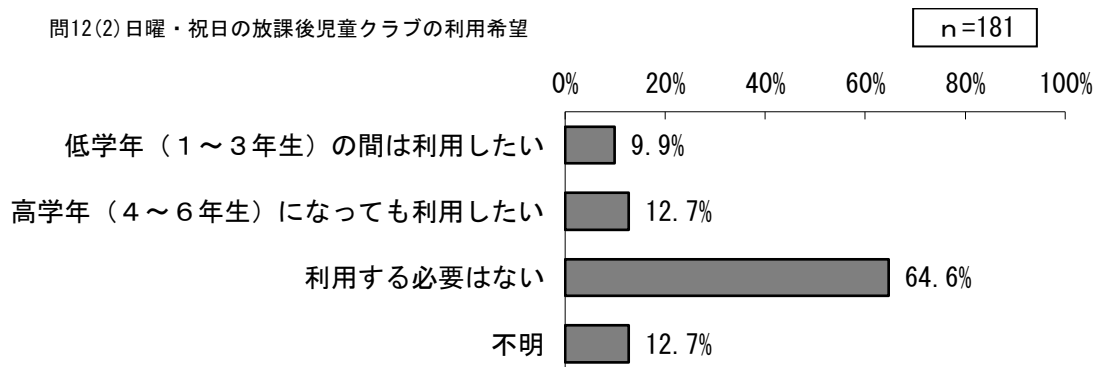
土曜日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が37.6%、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が27.6%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が21.5%、となっています。

問12(1)土曜日の放課後児童クラブの利用希望



日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望については、「利用する必要はない」が64.6%、次いで「高学年（4～6年生）になっても利用したい」が12.7%、「低学年（1～3年生）の間は利用したい」が9.9%、となっています。

問12(2)日曜・祝日の放課後児童クラブの利用希望

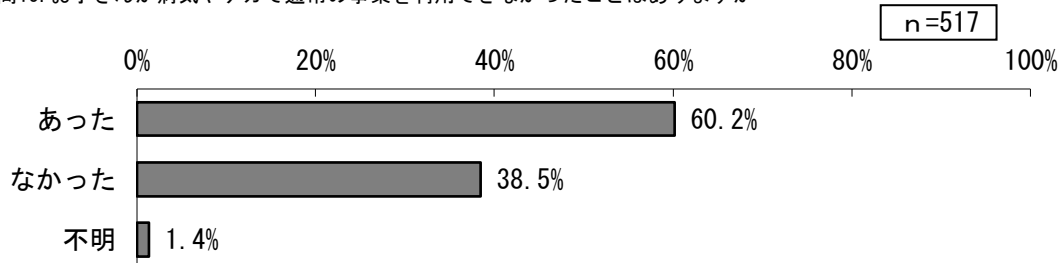


### (3) 子どもが病気やケガの際の対応について

#### ○病気やケガを理由に学校を休まなければならなかったこと

この1年間に、子どもが病気やケガで平日の学校を休まなければならなかったことは、「あった」が60.2%と高く、「なかった」が38.5%となっています。

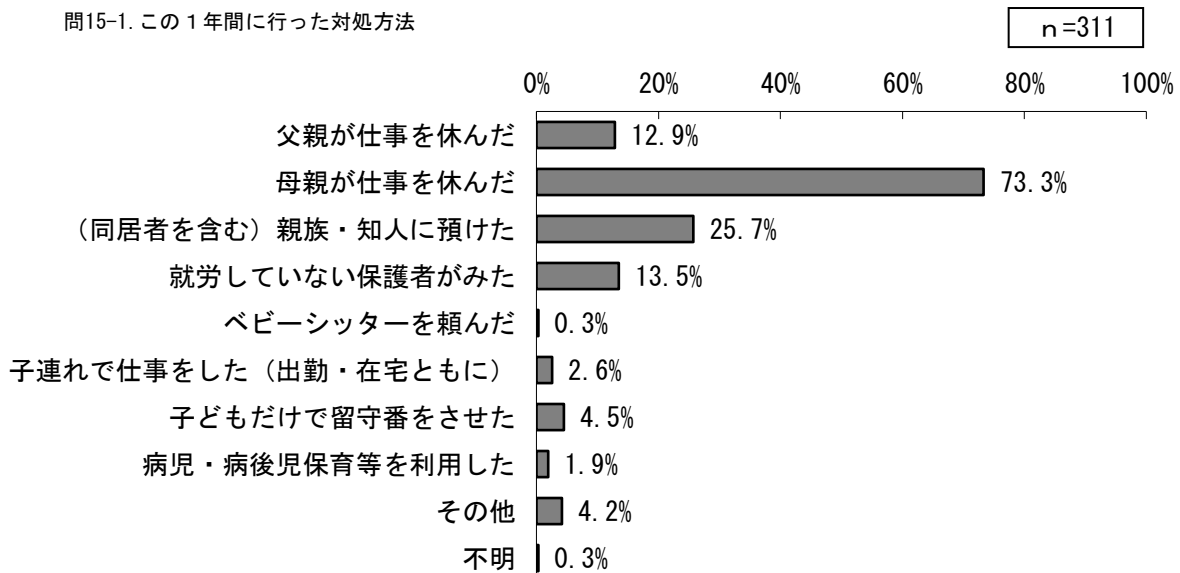
問15. お子さんが病気やケガで通常の事業を利用できなかったことはありますか



#### ○子どもが学校を休んだ場合の対処方法

子どもが学校を休んだ場合の対処方法は、「母親が仕事を休んだ」が73.3%と最も高く、次いで「(同居者を含む)親族・知人に預けた」が25.7%、「就労していない保護者がみた」が13.5%となっています。

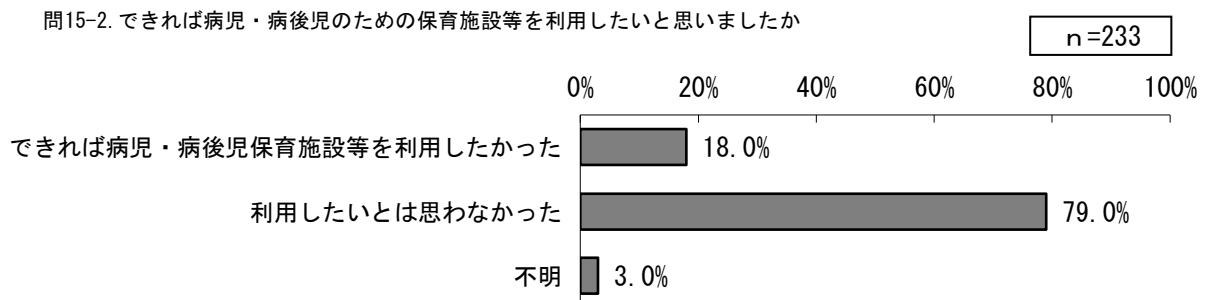
問15-1. この1年間に行った対処方法



#### ○病児・病後児保育の利用意向

病児・病後児のための保育施設の利用希望は、「利用したいと思わなかった」が79.0%と高く、「できれば病児・病後児保育等を利用したかった」が18.0%となっています。

問15-2. できれば病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが



### 3 アンケート結果からみえる課題

---

#### ●子育て中の保護者の負担を軽減する取組

就学前児童の不定期の教育・保育事業の利用については、「利用していない」が約9割ですが、今後の不定期な事業の利用意向について、「利用したい」が8割を超えており、利用したい理由は「冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通院等」が約7割、「私用、リフレッシュ目的」が約6割、「不定期の就労」が約4割となっています。

このような子育て中の保護者の負担を軽減するため、不定期の教育・保育事業を利用しやすくするなど、効果的な取組を進めていく必要があります。

#### ●企業に対する取組

育児休暇の取得について、「取得していない」が父親は8割を超えており、母親も「取得した（取得中である）」は約4割にとどまり、「取得していない」も2割近くいます。

このため、子育てに対して両親が協力して取り組める環境を整備し、親のワーク・ライフ・バランスを大切に考え、子育てしやすい環境づくりを進めるため、企業への働きかけを行っていく必要があります。

#### ●病児とその家族を支える取組

子どもが病気やケガで平日の教育・保育事業ができなかったことについて、就学前児童では「あった」が約7割、小学生でも6割に達しており、利用できなかった場合の対処方法については、「母親が仕事を休んだ」が就学前児童の母親で約8割、小学生の母親で約7割となっていますが、「病児・病後児の保育を利用した」はいずれも1割以下にとどまっています。

また一方で、今後の病児・病後児保育の利用意向については、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が就学前児童では4割超、小学生でも2割近く希望があります。

このため、子どもが病気等になった際でも、保護者が気兼ねなく仕事を休める環境づくりや、安心して病児・病後児保育施設等に預けられるような体制づくりといった支援を今後も進めていく必要があります。